

§ 7 小規模受水槽水道等監視指導事業

水道法の規制を受けない小規模な受水槽や複数戸で用いている井戸については、水質や施設管理等の問題が指摘されており、不適切な管理が原因となって利用者の健康を害するおそれがあるため、平成7年10月1日「川崎市小規模水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例」を施行し、一部に簡易専用水道と同様に管理状況検査の受検を規定する等、自主管理の徹底を図り、衛生確保に努めた。

表 216 対象施設

		総数	川崎	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生
小規模水道		7	－	1	－	2	－	2	2
小規模受水槽水道		1,872	436	264	321	296	154	232	169
用途別	共同住宅	880	117	125	166	158	98	126	90
	事務所	151	80	14	15	19	5	8	10
	店舗	121	70	7	9	11	7	10	7
	学校	33	11	2	6	8	－	3	3
	工場	34	15	－	4	9	－	3	3
	病院	12	2	6	1	2	1	－	－
	旅館	18	9	3	4	－	－	1	1
	興行場	2	2	－	－	－	－	－	－
	寮	87	10	9	26	18	4	16	4
	集会場	2	－	－	2	－	－	－	－
容量別	併用	407	84	91	85	43	24	52	28
	その他の	124	36	7	3	27	16	12	23
容量別	0トン超8トン以下	1,501	363	229	241	237	109	194	128
	8トン超10トン以下	371	73	35	80	59	45	38	41
飲用井戸（水道未布設）		8	－	－	－	2	1	3	2
災害時協力井戸（一部再掲）	（飲料水供給施設）	7	－	－	－	2	－	2	3
	（生活用水供給施設）	283	3	11	8	46	48	120	47

資料:生活衛生課